

「未来に関する意識調査」結果発表

～ 全国で約15000名に調査！各年代別の特徴が判明！ ～

住友生命保険相互会社（社長 橋本 雅博）は、毎年3月24日が「未来を強くする日」という新しい記念日として認定*を受けたことに伴い、認定後初となる「未来を強くする日（3月24日）」に向けて意識調査を実施いたしましたので、その結果に関してご報告いたします。

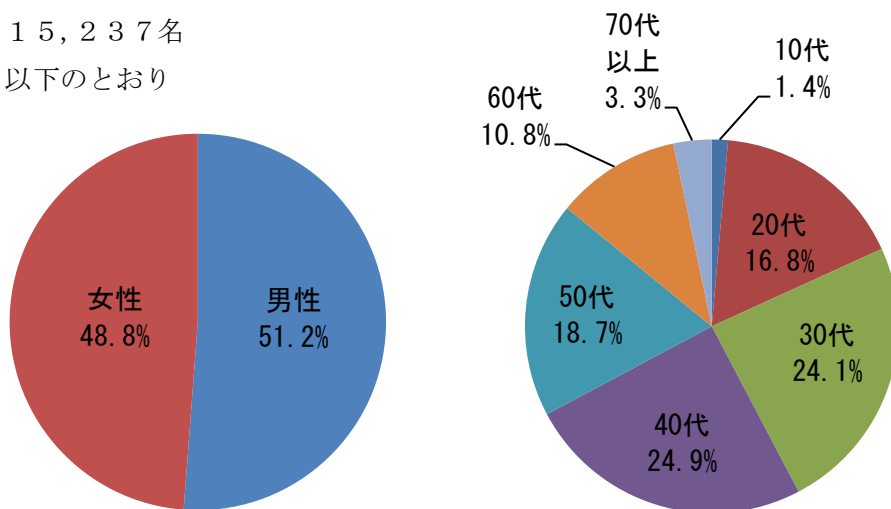
※当記念日は、当社のブランドメッセージ「あなたの未来を強くする」にちなみ、毎年3月24日を「未来を強くする日」として、一般社団法人日本記念日協会に申請し、認定を受けたものです。



■ 調査概要

- 調査対象 : 全国の男女
調査期間 : 平成26年9月24日～平成27年1月30日
調査方法 : 全国のスマセイ ライフデザイナーによる回収
調査内容 : 問1. 自分の「未来」についての将来設計プランはありますか？
問2. 「未来」への備えは十分だと思いますか？
問3. どのような方法で「未来」に備えていますか？
問4. 「未来」への一番の不安は何ですか？
問5. 「未来」の自分に大切にしたいことは何ですか？

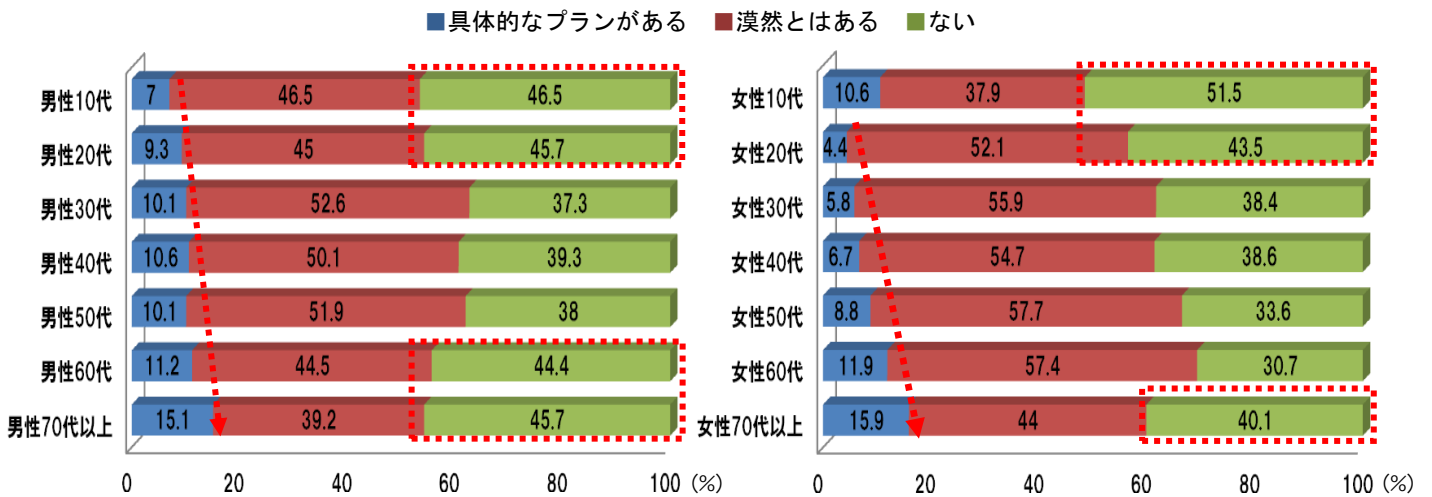
有効回答者数 : 15,237名
回答者の内訳 : 以下のとおり



調査結果

① 自分の「未来」について、将来の収入・支出等のプラン（将来設計プラン）の有無

将来設計プランの有無は、年代とともに「具体的なプランがある」の割合が上昇。一方で、どの年代でもプランが「ない」人が3割以上存在し、特に男性20代以下・60代以上、女性20代以下・70代以上では4割を超えている。

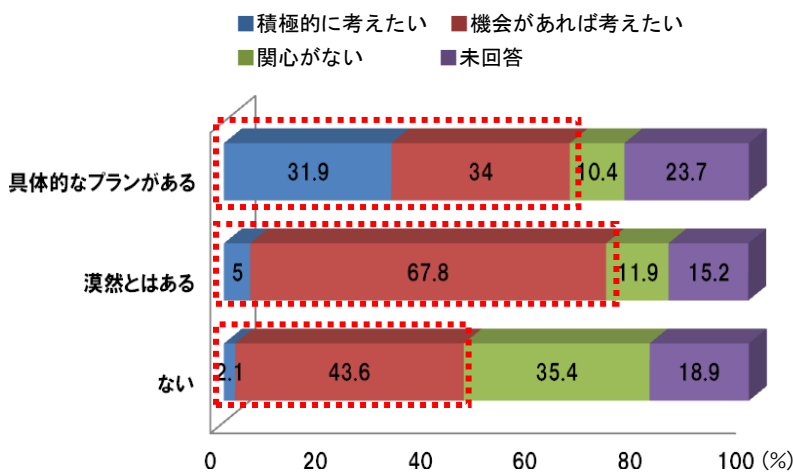


② a. 将来設計プランの検討意向 / b. 未来への備えについて

将来設計プランの検討意向は、現在のプランの有無に関わらず、どの場合でも4割以上が「考えたい」と回答。

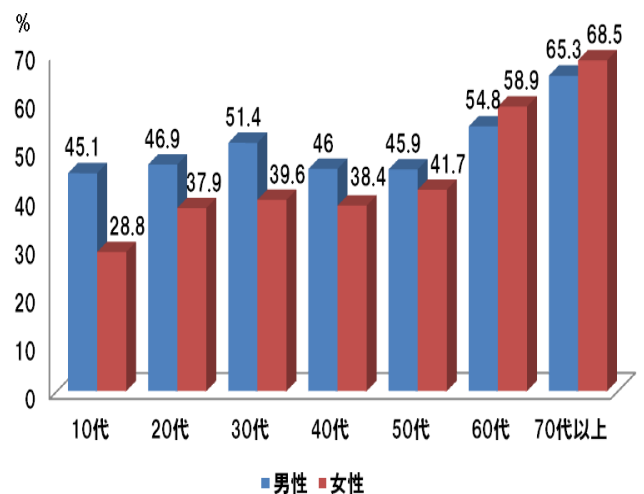
未来に対する備えは、同年代で比べると、男性の方が女性よりも割合が高くなる傾向にある。

a. 将来設計プランの検討意向



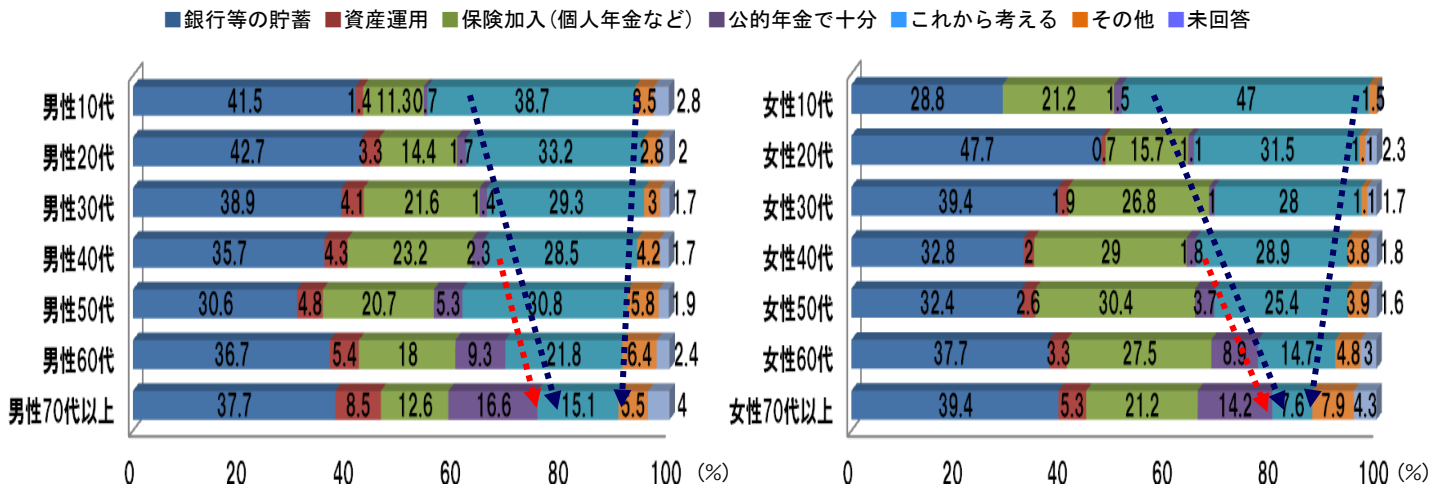
b. 未来に対する備えができている割合

(「十分に備えている」+「とりえず備えている」の合計)



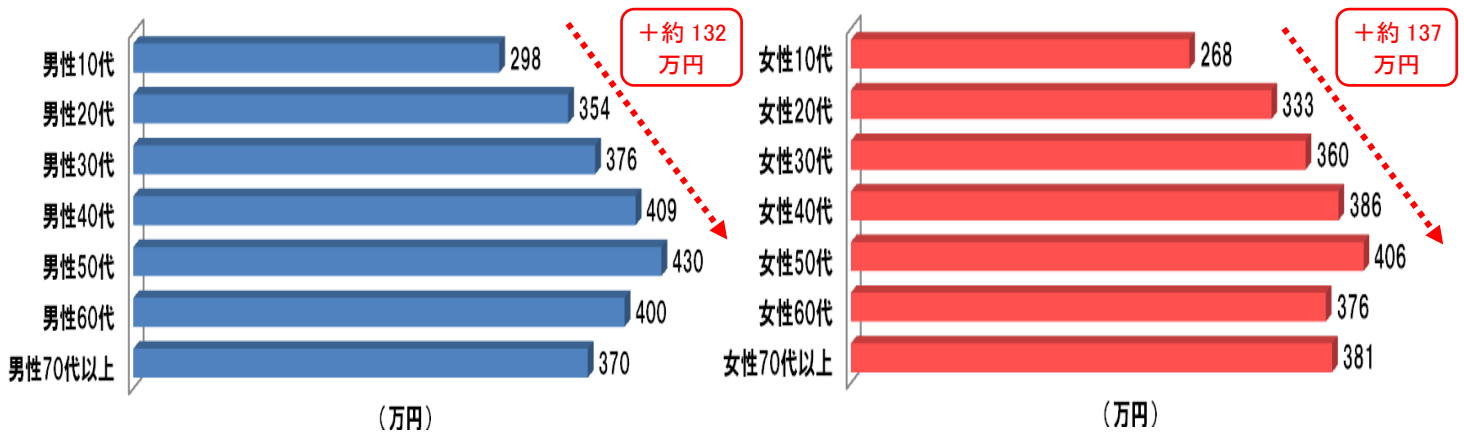
③ どのような方法で「未来」に備えているか？

未来に対する備えは、どの年代でも「銀行等の貯蓄」・「保険加入」の割合が高い。年代とともに「公的年金で十分」の割合が増加する一方で、「これから考える」の割合は減少傾向にある。



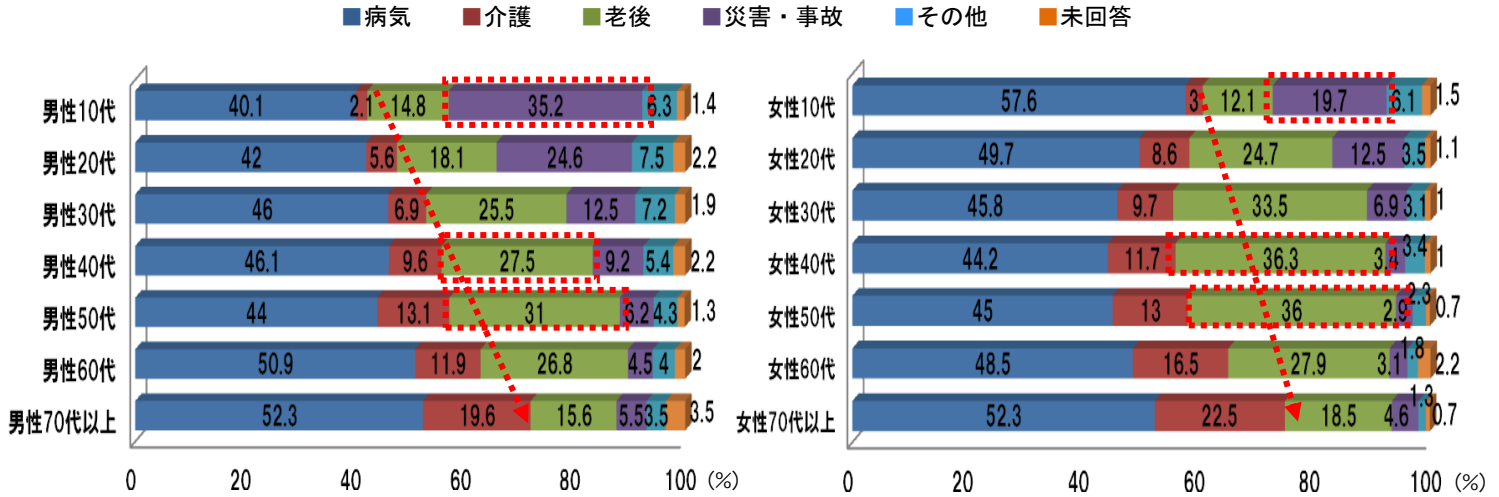
④ 10年後どれくらい貯金しておきたいか？

10年間で貯金しておきたい金額は10～50代にかけて増加し、その差は男女ともに「約130万円以上」。50代でピークとなり、老後への備えの意識が高い。



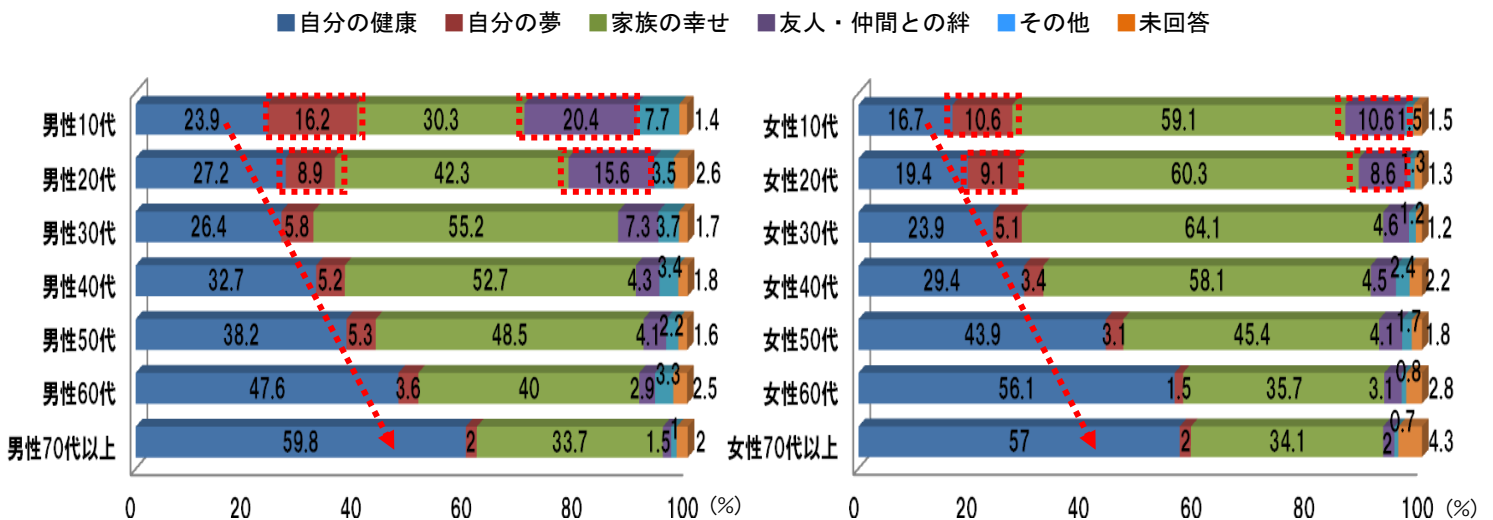
⑤ 「未来」への一番の不安は？

未来への一番の不安は、どの年代でも「病気」が4割を超えて最多。また、10代では「災害・事故」に対する不安が多く、年代とともに「介護」に対する不安が高くなる。「老後」への不安は40～50代がピーク。



⑥ 「未来」の自分に大切にしたいこと

未来の自分に大切にしたいことは、どの年代でも「家族の幸せ」・「自分の健康」の割合が高い。年代とともに「自分の健康」の割合が高まり、20代以下では、「自分の夢」・「友人・仲間との絆」の割合が高い。



以上